

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
1 解剖学 I	病院での臨床経験を踏まえ、人体解剖学の知識を臨床で必要とされる場所に重点を置いて教授する。	田口 明子	田口 明子 ※	1	後期	2 単位	必修
2 リハビリテーション概論	病院での臨床経験を踏まえ、リハビリテーションに関する基礎的知識を教授する。	福田 倫也	福田 倫也 ※ 堀口 利之 ※ 半田 知也 ※ 東條美奈子 ※ 坂本 美喜 ※ 幅田 智也 ※ 原 由紀 ※ 榑原 七重 ※	1	後期	1 単位	必修
3 医療学概論	病院、企業、公的機関等での経験を踏まえ、医療に関連した各種職業分野と社会活動等について講義する。	北里 英郎	檀原 宏文 ※ 黛 まどか ※ 北里 耕亮 ※ 北里 一郎 ※ 森 孝之 ※ 五十嵐真希 ※ 丸山 弘子 ※ 吉田 一成 ※ 洪 賢秀 ※ 柴 喜崇 ※ 渋谷 明隆 ※ 油谷 和子 ※ 石田 浩之 ※ 田ヶ谷浩邦 ※ 東條美奈子 ※	1	前期	2 単位	必修
4 理学療法学概論	病院や施設での臨床経験を踏まえ、理学療法の概要を解説する。	松永 篤彦	松永 篤彦 ※ 佐藤 春彦 ※ 清水 忍 ※ 渡邊 裕之 ※ 柴 喜崇 ※ 坂本 美喜 ※ 横山美佐子 ※ 神谷健太郎 ※ 今崎 牧生 ※	1	前期	2 単位	必修
5 臨床実習 I	病院や施設での臨床経験を踏まえ、学生の臨床実習における指導および援助を行う。	坂本 美喜	松永 篤彦 ※ 佐藤 春彦 ※ 柴 喜崇 ※ 清水 忍 ※ 渡邊 裕之 ※ 坂本 美喜 ※ 横山美佐子 ※ 上出 直人 ※ 神谷健太郎 ※ 小倉 彩 ※	1	後期	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
6 チーム医療論(演習含)	病院での臨床経験を踏まえ、実践的なチーム医療の意義や必要性、チーム医療におけるコミュニケーションの重要性や必要性について概説する。	伊藤 智夫	伊藤 智夫 ※ 岩村 正嗣 ※ 宮岡 等 ※ 渡邊 昌彦 ※ 坂東 由紀 ※ 厚田 幸一郎 ※ 有田 悦子 ※ 吉田 一成 ※ 洪谷 明隆 ※ 伊勢田 明子 ※ 齋藤 有紀子 ※ 田ヶ谷 浩邦 ※ 松永 篤彦 ※ 五味 勉 ※ 油谷 和子 ※ 渡邊 達也 ※	1	後期	1 単位	必修
7 解剖学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、人体解剖学の知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。	田口 明子	田口 明子 ※	2	前期	2 単位	必修
8 解剖学実習Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、筋・骨格についての知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。	田口 明子	田口 明子 ※ 門谷 裕一 小畑 秀一 林 徹 木村 武俊	2	前期	1 単位	必修
9 解剖学実習Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、実際の人の身体についての知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。	田口 明子	田口 明子 ※ 門谷 裕一 小畑 秀一 林 徹 木村 武俊	2	通年	1 単位	必修
10 生理学実習	研究所での研究経験を踏まえ、生体の機能がどのように解明されてきたのか概説する。	緒形 雅則	石橋 仁 ※ 秋田 久直 ※ 緒形 雅則 ※ 小島 史章 ※ 濱田 幸恵 ※	2	前期	1 単位	必修
11 病理学	研究機関での経験を踏まえ、病理学的基礎知識が臨床的専門分野の礎となることを概説する。	丸山 弘子	丸山 弘子 ※	2	前期	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
12 臨床医療学Ⅰ	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	片桐 真人 ※ 福田 倫也 ※ 堀口 利之 ※ 石川 均 ※ 堀江 良一 ※ 東條美奈子 ※ 横場 正典 ※ THET THET LWIN ※ 隈部 俊宏 ※ 小林 清典 ※ 隈元 雄介 ※ 佐藤 武郎 ※ 釧持 学 ※ 熊澤 憲一 ※ 近藤 関子 ※ 柴山 啓子 ※ 小泉 寛之 ※ 石戸 謙次 ※ 東野 俊洋 ※ 高山 陽子 ※ 佐々木 治一郎 ※ 服部 潤 ※ 酒井 健史 ※ 長谷川 力也 ※ 土岐 卓也 ※	2	通年	4 単位	必修
13 臨床医療学Ⅱ	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	高平 尚伸	高平 尚伸 ※ 北村 律 ※ 望月 純子 ※ 松本 和将 ※ 塩見 和 ※ 石井 大輔 ※ 岩瀬 大 ※ 恩田 貴志 ※	2	後期	1 単位	必修
14 臨床医療学Ⅲ	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	田ヶ谷 浩邦 ※ 福田 倫也 ※ 安藝 良一 ※	2	後期	1 単位	必修
15 整形外科	病院での実務経験を踏まえ、メディカルスタッフが対象とする整形外科疾患の病態、治療法について教授する。	高平 尚伸	高平 尚伸 ※ 酒井 利奈 ※ 松浦 晃正 ※ 齋藤 亘 ※ 助川 浩士 ※	2	後期	1 単位	必修
16 臨床心理学Ⅰ	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、精神障害の特徴およびその支援について概説する。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	2	前期	2 単位	必修
17 臨床心理学Ⅱ	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、心理療法及び心理検査の特徴を概説する。	深瀬 裕子	深瀬 裕子 ※	2	後期	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
18 発達心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、発達の正常および異常について講義を行う。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	2	前期	2 単位	必修
19 生体運動分析学	病院での臨床経験を基に、患者に見られる姿勢と運動の力学を解説する。	佐藤 春彦	佐藤 春彦 ※	2	前期	1 単位	必修
20 生体運動分析学実習	病院での臨床経験を基に、臨床研究につながる各種運動計測方法の実習を行う。	佐藤 春彦	佐藤 春彦 ※	2	通年	2 単位	必修
21 臨床運動学(実習含)	病院での臨床経験を基に、体表解剖および触診の実習を行う。	佐藤 春彦	佐藤 春彦 ※	2	前期	1 単位	必修
22 薬理学	研究所での研究経験を踏まえ、薬物の作用機序や薬物の作用点としての生体の構造とその機能を理解する上で、薬理学領域の研究がどのように役立っているか概説する。	小島 史章	小島 史章 ※	2	前期	2 単位	選択
23 公衆衛生学	公的機関での短期専門家としてインドネシア共和国に派遣され、衛生における研究や教育の指導に携わった経験を踏まえ、環境問題解決の基本的な考え方や上下水道整備の意義を概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 伊与 亨 ※ 片桐 裕史	2	後期	2 単位	選択
24 社会系医療学	病院等での経験を踏まえ、社会福祉に関する概要や制度、ソーシャルワークの実際を講義する。	渡邊 誠	柴 喜崇 ※ 左右田 哲 ※ 中村 球恵 ※ 亀澤 有子 ※ 中村 奈奈 ※ 坪井 ゆり ※ 市川 賀一 ※ 提中 拓 ※	2	前期	1 単位	選択
25 基礎理学療法学(実習含)	病院での臨床経験を踏まえ、理学療法の基礎となる知識・技術の臨床への適応について解説する。	渡邊 裕之	渡邊 裕之 ※ 清水 忍 ※ 神谷健太郎 ※ 見井田和正 ※	2	後期	2 単位	必修
26 理学療法評価学	病院や施設での臨床経験を踏まえ、理学療法評価への理解を促す。	小倉 彩	小倉 彩 ※	2	前期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
27 理学療法評価学実習	病院や施設での臨床経験を踏まえ、理学療法評価手技の習得を援助する。	小倉 彩	小倉 彩 ※ 清水 直人 ※ 上出 裕之 ※ 渡邊 美喜 ※ 坂本 喜崇 ※ 柴 喜彦 ※ 佐藤 春彦 ※ 神谷健太郎 ※	2	通年	2 単位	必修
28 高次脳機能学	病院での臨床経験を踏まえ、臨床における高次脳機能障害の病態、介入方法を教授する。	福田 倫也	福田 倫也 ※	2	後期	1 単位	必修
29 臨床理学療法学 I (実習含)	病院での臨床経験を基に、理学療法を進め方について紙上症例を用いて解説する。	坂本 美喜	坂本 美喜 ※	2	後期	1 単位	必修
30 臨床実習 II	病院や施設での臨床経験を踏まえ、学生の臨床実習における指導および援助を行う。	神谷健太郎	松永 篤彦 ※ 佐藤 春彦 ※ 清水 忍 ※ 柴 喜崇 ※ 渡邊 裕之 ※ 坂本 美喜 ※ 横山美佐子 ※ 上出 直人 ※ 神谷健太郎 ※ 小倉 彩 ※	2	後期	1 単位	必修
31 リハビリテーション医学	病院での臨床経験を踏まえ、各専門職種の見点から、リハビリテーション医学に必要な知識について教授する。	東條美奈子	東條美奈子 ※ 片桐 真人 ※ 堀口 利之 ※ 高平 尚伸 ※ 福田 倫也 ※ 佐野 肇 ※ 半田 知也 ※ 榊原 七重 ※ 中澤 祐則 ※ 頼住 孝二 ※ 宮城 正行 ※	3	前期	2 単位	必修
32 医療統計学	研究所での経験を踏まえ、実際の工場で測定されるデータのばらつき等をどう評価するかを概説する。 病院での臨床経験を踏まえ、医療における統計学の重要性及び実際の統計を使用したデータ処理がどのように展開されるのかを概説する。	稲岡 秀検	稲岡 秀検 ※ 守田 憲崇 ※	3	後期	2 単位	必修
33 理学療法研究法	病院や施設での臨床研究の経験を踏まえ、臨床研究の進め方を概説する。	東條美奈子	東條美奈子 ※	3	後期	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
34 高次脳機能障害理学療法学(実習含)	病院や施設での臨床経験を踏まえ、高次脳機能障害に対する理学療法の習得を援助する。	清水 忍	清水 忍 ※ 福田 倫也 ※ 秦 若菜 ※	3	前期	1 単位	必修
35 臨床理学療法学Ⅱ	病院や施設での臨床経験を踏まえ、整形外科疾患ならびに中枢神経疾患を対象とした理学療法を実施するための臨床的問題解決能力を育成する。	松永 篤彦	松永 篤彦 ※ 高平 尚伸 ※ 福田 倫也 ※ 清水 忍 ※ 渡邊 裕之 ※ 小倉 彩 ※ 神谷健太郎 ※	3	通年	2 単位	必修
36 臨床理学療法学Ⅱ実習	病院や施設での臨床経験を踏まえ、主に整形外科疾患ならびに中枢神経疾患を対象とした理学療法を実施するための臨床的問題解決能力を実技を中心に育成する。	松永 篤彦	松永 篤彦 ※ 清水 忍 ※ 柴 喜崇 ※ 渡邊 裕之 ※ 佐藤 春彦 ※ 坂本 美喜 ※ 横山美佐子 ※ 上出 直人 ※ 神谷健太郎 ※ 小倉 彩 ※ 平賀よしみ ※ 春日 美保 ※ 藤橋 紀行 ※ 宮城 しほ ※ 平野 篤史 ※	3	通年	2 単位	必修
37 小児理学療法学	病院での臨床経験を踏まえ、小児理学療法の意義及び実際がどのように展開されるのかを概説する。	横山美佐子	横山美佐子 ※ 野村 優子 ※	3	前期	2 単位	必修
38 小児理学療法学実習	病院や施設での臨床経験を基に、小児理学療法を展開するための実習を行う。	横山美佐子	横山美佐子 ※ 脇口 恭生 ※	3	通年	1 単位	必修
39 義肢装具学	病院での臨床経験を踏まえ、義肢装具の意義及び理学療法の実際がどのように展開されるのかを概説する。	横山美佐子	横山美佐子 ※ 幅田 智也 ※	3	前期	1 単位	必修
40 義肢装具学実習	病院や施設での臨床経験を基に、義肢装具に関する理学療法実習を行う。	横山美佐子	横山美佐子 ※ 幅田 智也 ※ 曾我 敏雄 ※ 和田 夏樹 ※	3	前期	1 単位	必修
41 日常生活活動学	病院での臨床経験を基に、日常生活動作の障害に対する評価・支援の方法を解説する。	上出 直人	上出 直人 ※	3	前期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
42 日常生活活動学実習	病院での臨床経験を基に、日常生活動作に障害を有する対象者への支援方法について実習する。	上出 直人	上出 直人 ※	3	通年	1 単位	必修
43 物理療法学（実習含）	病院での臨床経験を基に、物理療法の作用機序と臨床適用について解説する。	坂本 美喜	坂本 美喜 ※ 渡邊 裕之 ※	3	前期	2 単位	必修
44 整形外科系理学療法学	病院での臨床経験を踏まえ、整形外科理学療法の意義及び臨床への適応について解説する。	渡邊 裕之	渡邊 裕之 ※ 高平 尚伸 ※	3	前期	2 単位	必修
45 整形外科系理学療法学実習	病院での臨床経験を踏まえ、整形外科理学療法の意義及び臨床への適応について解説する。	渡邊 裕之	渡邊 裕之 ※ 高平 尚伸 ※ 鳥居 昭久 ※	3	通年	1 単位	必修
46 内部障害系理学療法学	病院や施設での臨床経験を踏まえ、内部障害者に対する理学療法について、指導および援助を行う。	神谷健太郎	神谷健太郎 ※ 松永 篤彦 ※ 横場 正典 ※ 濱崎 伸明 ※ 高倉 保幸 ※ 佐々木 治一郎 ※ 野崎 康平 ※ 國澤 洋介 ※	3	後期	2 単位	必修
47 内部障害系理学療法学実習	病院や施設での臨床経験を踏まえ、内部障害者に対する理学療法についての実習指導を行う。	神谷健太郎	神谷健太郎 ※ 松永 篤彦 ※ 小倉 彩 ※ 小池 朋孝 ※ 見井田和正 ※ 濱崎 伸明 ※	3	通年	1 単位	必修
48 中枢神経系理学療法学	病院や施設での臨床経験を踏まえ、中枢神経疾患に対する理学療法の目的、方法を指導する。	清水 忍	清水 忍 ※	3	前期	1 単位	必修
49 中枢神経系理学療法学実習	病院や施設での臨床経験を踏まえ、中枢神経疾患に対する理学療法評価、治療、検査等についての実習指導を行う。	清水 忍	清水 忍 ※ 柴 喜崇 ※ 藤縄 光留 ※ 藤橋 紀行 ※ 鈴木 良和 ※	3	通年	1 単位	必修
50 老年理学療法学	病院のみならず複数自治体との協働事業での経験を基に、地域包括システムの原理を踏まえ、住み慣れた地域で最期まで生活維持するために必要な事項について概説する。	柴 喜崇	柴 喜崇 ※	3	前期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
51 老年理学療法学実習	病院及び複数自治体との協働事業での経験を踏まえ、老いる社会のメカニズム、高齢社会に資する計画及びその実際の対策について概説するとともに実習を行う。	柴 喜崇	柴 喜崇 ※ 上出 直人 ※ 河村 晃依 ※ 中田 晴美 ※	3	通年	1 単位	必修
52 地域理学療法学	病院のみならず複数自治体との協働事業での経験を基に、地域包括システムの原理を踏まえ、住み慣れた地域で最期まで生活維持するために必要な事項について概説する。	柴 喜崇	柴 喜崇 ※	3	後期	1 単位	必修
53 地域理学療法学実習	病院のみならず複数自治体との協働事業での経験を基に、地域包括システムの原理を踏まえ、住み慣れた地域で最期まで生活維持するために必要な事項について概説するとともに実習を行う。	柴 喜崇	柴 喜崇 ※ 上出 直人 ※ 宇野 潤 ※ 大森 豊 ※ 阿部 勉 ※	3	後期	1 単位	必修
54 小児理学療法学特論(実習含)	病院や施設での臨床経験を踏まえ、小児理学療法の最新の研究や実践を概説し、実習も行う。	横山美佐子	横山美佐子 ※ 平井 孝明 ※ 原 由紀 ※	3	後期	1 単位	選択
55 老年理学療法学特論(実習含)	病院のみならず複数自治体との協働事業での経験を基に、地域包括システムの原理を踏まえ、住み慣れた地域で最期まで生活維持するために必要な事項について概説するとともに、地域での実地見学実習を行う。	柴 喜崇	柴 喜崇 ※	3	後期	1 単位	選択
56 地域理学療法学特論(実習含)	病院のみならず複数自治体との協働事業での経験を基に、地域包括システムの原理を踏まえ、住み慣れた地域で最期まで生活維持するために必要な事項について概説するとともに地域での実地見学実習を行う。	柴 喜崇	柴 喜崇 ※ 清水 忍 ※ 佐藤 春彦 ※ 横山美佐子 ※ 上出 直人 ※ 河村 晃依 ※ 重田 美和 ※ 本橋 隆子 ※	3	後期	1 単位	選択
57 理学療法学特論 I	病院や施設での臨床経験を踏まえ、理学療法の各専門分野の理解が深められるよう解説する。	松永 篤彦	松永 篤彦 ※ 柴 喜崇 ※ 渡邊 裕之 ※ 佐藤 春彦 ※ 清水 忍 ※ 坂本 美喜 ※ 横山美佐子 ※ 上出 直人 ※ 神谷健太郎 ※ 小倉 彩 ※	4	後期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
58 理学療法学特論Ⅱ(実習含)	病院や施設での臨床経験を踏まえ、理学療法の実践に必要な知識を総合的に解説する。	上出 直人	上出 直人 ※ 高平 尚伸 ※ 福田 倫也 ※ 神谷 健太郎 ※	4	後期	1 単位	必修
59 臨床実習Ⅲ	病院や施設での臨床経験を踏まえ、学生の臨床実習における指導および援助を行う。	松永 篤彦	松永 篤彦 ※ 高平 尚伸 ※ 東條美奈子 ※ 佐藤 春彦 ※ 柴 喜崇 ※ 清水 忍 ※ 渡邊 裕之 ※ 坂本 美喜 ※ 横山美佐子 ※ 上出 直人 ※ 神谷 健太郎 ※ 小倉 彩 ※	4	前期	8 単位	必修
60 臨床実習Ⅳ	病院や施設での臨床経験を踏まえ、学生の臨床実習における指導および援助を行う。	松永 篤彦	松永 篤彦 ※ 高平 尚伸 ※ 東條美奈子 ※ 佐藤 春彦 ※ 柴 喜崇 ※ 清水 忍 ※ 渡邊 裕之 ※ 坂本 美喜 ※ 横山美佐子 ※ 上出 直人 ※ 神谷 健太郎 ※ 小倉 彩 ※	4	前期	8 単位	必修
61 卒業研究	病院や施設での臨床研究の経験を踏まえ、各専門分野の視点から、学生の研究指導にあたる。	松永 篤彦	松永 篤彦 ※ 高平 尚伸 ※ 東條美奈子 ※ 佐藤 春彦 ※ 柴 喜崇 ※ 清水 忍 ※ 渡邊 裕之 ※ 坂本 美喜 ※ 横山美佐子 ※ 上出 直人 ※ 神谷 健太郎 ※ 小倉 彩 ※ 研究委員	4	通年	5 単位	必修
62 整形外科系理学療法学特論(実習含)	病院での臨床経験を踏まえ、整形外科系理学療法の意義及び臨床への適応について解説する。	渡邊 裕之	渡邊 裕之 ※ 加賀谷善教 ※	4	後期	1 単位	選択
63 中枢神経系理学療法学特論	病院や施設での臨床や研究の経験を踏まえ、中枢神経疾患に関する専門的な臨床・研究の指導にあたる。	清水 忍	清水 忍 ※	4	後期	1 単位	選択

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
64 内部障害系理学療法学特論	病院や施設での臨床や研究の経験を踏まえ、内部障害に対する専門的な臨床・研究の指導にあたる。	神谷健太郎	神谷健太郎 ※ 松永 篤彦 ※ 東條美奈子 ※	4	後期	1 単位	選択
65 分子血栓止血学	病院での臨床経験を踏まえ、先天的、後天的出血性疾患についての臨床的意義について講義し、また実際の血液補充療法や薬物療法がどのように展開されているのかを概説する。	松尾 純孝	松尾 純孝 ※	全	前期	2 単位	自由
66 臨床検査学概論	臨床検査技師・細胞検査士・医師として病院、検査センター、健診センター、研究所、企業での経験を踏まえ、各分野での臨床検査の意義、様々な医療現場において活躍する臨床検査技師の役割及び臨床検査技師・細胞検査士の実際の業務について概説する。	佐藤 隆司	佐藤 隆司 ※ 横場 正典 ※ 西村由香里 ※ 長塩 亮 ※ 太田 悦朗 ※ 中村 正樹 ※ 黒崎 祥史 ※	全	後期	1 単位	自由
67 ボランティア社会学	医療機関での臨床業務や研究所・企業での研究経験を踏まえ、医療知識が災害や国内外のボランティア活動にどのように活かされているかを概説する。	丸山 弘子	丸山 弘子 ※ 菅野 信弘 ※ 上澤 悦子 ※ 長沢 光章 ※ 谷ヶ城良太 ※ 正木 朋也 ※ 河村 晃依 ※ 江川 美奈 ※ 佐藤 春彦 ※ 柴 喜崇 ※ 渡邊 裕之 ※ 大室 和也 ※ 医療衛生学部QQクラブ	全	後期	2 単位	自由
68 神経・生理心理学	研究所、臨床（医師）での実務経験を踏まえ、神経活動、神経伝達、神経系構造と役割について解説する。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※	全	後期	2 単位	自由
69 社会・集団・家族心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、社会・集団における対人・自己認知や家族機能の正常および病的なメカニズムを概説する。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	全	前期	2 単位	自由
70 感情・人格心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、感情・人格の正常および病的なメカニズムを概説する。	深瀬 裕子	深瀬 裕子 ※	全	後期	2 単位	自由
71 医療に利用される最新科学	病院での臨床経験を踏まえ、医学における研究トピックス及び最近の動向を概説する。	原 秀剛	原 秀剛 ※	全	後期	1 単位	自由

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
72 生体信号計測概論	企業での機器開発経験を踏まえ、生体信号計測機器の利用と開発に必要な基礎知識について概説する。	小菅 智裕	小菅 智裕 ※	全	前期	1 単位	自由
合計						121 単位	